

NEWS RELEASE

利便性だけでなく安心・安全を考慮した AI の開発・利活用を推進
三菱電機グループ「AI 倫理ポリシー」策定

三菱電機株式会社は、利便性だけでなく安心・安全を考慮した人間中心の AI の開発・利活用を推進するため、当社グループの「AI 倫理ポリシー」を策定しました。

当社は創立 100 周年を契機に、新しい企業理念「私たち三菱電機グループは、たゆまぬ技術革新と限りない創造力により、活力とゆとりある社会の実現に貢献します」を掲げました。この新しい企業理念に沿って定めた 5 つのマテリアリティ（重要課題）に基づき、「あらゆる人の尊重」を考慮した AI の開発・利活用を行うことで「持続可能な地球環境の実現」「安心・安全・快適な社会の実現」に貢献します。本ポリシーに基づき、安心・安全な AI を搭載した製品・サービスを提供していきます。



「三菱電機グループのマテリアリティ」掲載 URL :

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/csr/management/materiality/index.html>

背景

グローバルに AI の利活用が活発化する中、人権やプライバシーなどを侵害するリスクが高いと判断された AI の利活用を制限する議論が進んでいます。経済協力開発機構 (OECD) では AI に関する原則として国際的な政策ガイドライン^{※1}が採択され、わが国の内閣府では「人間中心の AI 社会原則会議」^{※2}で議論されてきました。さらに、利活用において留意すべき原則を整理したガイドライン^{※3}や、これを実践するためのガバナンス・ガイドラインの整理^{※4}が進みつつあります。

当社はこれらの議論を受け、多様なステークホルダーとの対話を通じて、利便性だけでなく安心・安全を考慮した人間中心の AI の開発・利活用を推進するために、当社グループの「AI 倫理ポリシー」を策定しました。

※1 OECD Council Recommendation on Artificial Intelligence: OECD Principles on AI

<https://www.oecd.org/going-digital/ai/principles/>

※2 内閣府：人間中心の AI 社会原則

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/jinkouchinou/pdf/aigensoku.pdf>

※3 総務省：AI 利活用ガイドライン

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01iicp01_02000081.html

※4 経済産業省：AI 原則実践のためのガバナンス・ガイドライン ver. 1.0

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/ai_shakai_jisso/2021070902_report.html

報道関係からの
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL 03-3218-2359 FAX 03-3218-2431
三菱電機株式会社 広報部

三菱電機グループ「AI 倫理ポリシー」

<前文>

三菱電機グループは、たゆまぬ技術革新と限りない創造力により、活力とゆとりある社会の実現に貢献することを、企業理念として宣言しています。この理念にのっとり、AI の技術革新を通じて、社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献します。三菱電機グループは、AI を開発・提供する者の責務として、利便性だけでなく安心・安全を考慮し AI を開発・利活用していきます。また、AI に関連する技術や社会の動向を踏まえて、多様なステークホルダーとの対話を通じて本ポリシーを進化させるとともに、人間中心の AI 社会の実現に貢献することで、もっと素晴らしい明日を切り拓いていきます。

<本文>

No.	設定項目	内容
(1)	人間中心の AI 社会実現	三菱電機グループは、人々の活躍と幸せにつながる AI の開発・利活用を行うことで、人間の尊厳が守られる社会の実現を目指します。
(2)	公平性を尊重した適正な利活用	三菱電機グループは、AI を搭載した製品・サービスの提供にあたり、AI の判断結果に偏りが生じる可能性を常に認識し、多様な人々が共生する社会において、不当な差別が生じないように取り組みます。また、三菱電機グループは、お客さまやビジネスパートナーが、三菱電機グループが提供する AI を搭載した製品・サービスについて、公平性を尊重した適正な用途で AI を利活用することに対し、協力します。
(3)	安全性の確保	三菱電機グループは、AI を搭載した製品・サービスが想定どおり動作するように品質を検証し、生命・自由を脅かすことがないよう安全性の確保に努めます。また、第三者による不正なアクセスからの保護などのセキュリティー対策にも継続的に取り組みます。
(4)	プライバシーへの配慮	三菱電機グループは、個人情報を含むデータを適切に扱い、AI を搭載した製品・サービスにおけるプライバシーに配慮します。
(5)	透明性と説明責任	三菱電機グループは、AI を搭載した製品・サービスにおいて、AI の判断理由を説明できるように AI の透明性を高めることに努めます。また、AI の利用目的や利用方法、AI を搭載した製品・サービスの使用時に想定される様々な影響に関して、多様なステークホルダーとの対話を重ねて説明責任を果たすよう努めます。
(6)	AI の発展と人材の育成	三菱電機グループは、AI 技術やそれを適用した製品・サービスを継続的に進化させます。また、AI 技術とその課題を理解し、人間中心の AI 社会の実現に貢献する人材の育成に取り組みます。
(7)	法令の遵守	三菱電機グループは、AI を搭載した製品・サービスの開発・利活用において各国・各地域の法令を遵守します。

三菱電機グループ「AI 倫理ポリシー」掲載 URL :

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/csr/social/humanrights/aipolicy/index.html>